

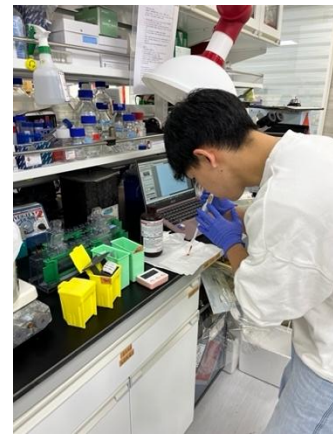
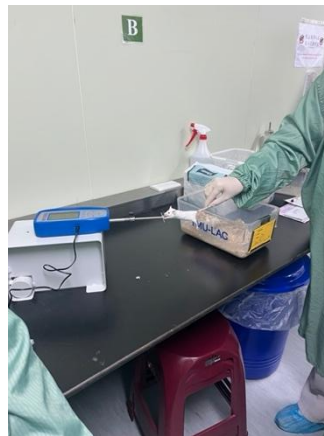
台北医学大学保健栄養学系での研究者交流

食と農免疫国際特別教育プログラムにて、40日間（2024年10月24日から2024年11月30日）台北医学大学保健栄養学系に短期留学し、疾患モデルを用いた動物実験や免疫組織学的解析、解剖実験など様々な研究手法を学びました。解剖実験では、野菜や海藻等の食品成分を与えた肥満マウスの解剖を行い、私たちは小腸と大腸の採取を行いました。また楊素卿教授の研究室では、アルコール性肝障害モデルラットの実験を見学し、アルコール飼料の調製方法や給餌方法、採血方法をご教示いただきました。実験手法の学習に加え、毎週月曜日には大学院性が論文を紹介する授業に参加させていただきました。

日常生活では、台北医学大学の学生と昼食や夕食を共にする機会が多くありました。その中で普段の生活スタイルや大学院の仕組み、今後のキャリアについてなど多くの情報を交換しました。このような交流は、自身の視野を広げ、今後のキャリアについて考える良い機会となりました。

今回の留学は40日間と比較的短いものでした。しかし、様々な場面で新しい学びが得られ、また自身の研究室や日本との生活・文化・考え方などの違いを知ることができ、非常に刺激的なものであったと感じます。この期間で得たものを今後の大学院での研究生活、ひいては人生に活かしていきたいと思います。最後になりましたが、このような貴重な機会を提供していただきました、楊素卿教授をはじめとする台北医学大学の先生方や学生の皆様、ならびに食と農免疫国際教育研究センターの皆様にご心より御礼申し上げます。

（文：東北大学農学研究科 農芸化学専攻 栄養学分野 博士課程前期1年 原田 陽菜 村上 瑠）



左上：飼料調製 上中央：マウス筋力測定 右上：組織染色 左下：送別会 右下：学生との食事会